

**天理市版生涯活躍のまち導入可能性調査業務公募型プロポーザル
ご質問に対する回答について**

【質問1】

天理市版生涯活躍のまち導入可能性調査業務(以下「本業務」という。)は再委託が可能でしょうか。可能な場合において、業務実施体制(様式6)への記載はどのようにすればよいのでしょうか。

＜回答＞

本業務の全てを第三者に委託することはできませんが、その一部を委託することは可能です。その場合、業務実施体制(様式6)には、委託先事業者の従業員等を含めて記載する必要はなく、あくまでも本業務のプロポーザルに参加を表明した事業者における本業務にかかる業務実施体制を記載してください。

【質問2】

天理市版生涯活躍のまち導入可能性調査業務公募型プロポーザル実施要領(以下「実施要領」という。)5頁の11行目の「業務責任者」とは、実施要領の業務実施体制(様式6)の「総括責任者」のことでしょうか、「現場責任者」のことでしょうか。

＜回答＞

「現場責任者」を指します。

【質問3】

奈良県国際芸術家村については運営主体や雇用の創出規模等、未確定要素が多いため、実現可能性を担保するのは難しいと考えます。公表されている情報を元に、本事業にどう関連付け活用し得るか、可能性を示すという理解でよいでしょうか。

＜回答＞

本業務の契約期間内に入手し得る最新の公表情報をベースにして、本事業に奈良県国際芸術家村をどのように活用し得るのかを検討していただき、その結果を報告いただければ結構です。

【質問4】

サ高住を市が所有する土地に設置するケースについて、市の所有地の数や、各候補地の場所、広さ等の情報は提供していただけるでしょうか。

＜回答＞

提供可能です。契約締結後にお申し付けください。

【質問5】

空き家、空き地の現状について、空家等対策協議会からの情報提供は可能でしょうか。

＜回答＞

本市では、水道の閉栓状況や関係機関の協力により空き家の実態調査を実施しており、個人情報等に支障がない範囲で市内の空き家等の情報を提供します。契約締結後にお申し付けください。

【質問6】

研修会の実施について、実施回数、時間、会場（公共施設もしくは民間施設）、対象人数、資料枚数は、どの程度でしょうか。また、カラー印刷、モノクロ印刷のいずれでしょうか。

＜回答＞

研修会は、関係職員が今後天理市における生涯活躍のまちを検討するにあたってのキックオフと位置づけており、天理市役所内の会議室において、契約終了前10日の範囲内で1回、時間は2～3時間程度を想定しています。また、対象人数は最大30名で人数分の資料をカラーで作成いただくとともに、当該資料のコピー用の原稿をご提供ください。

【質問7】

WEB調査について、サンプル数はどの程度を想定されていますでしょうか。

＜回答＞

本市では、ニーズ把握のための調査等のサンプル数の基準は定めておりませんので、作成いただく報告書の記載に説得力を与えるために必要と御社が考えるサンプル数を提案して調査を実施してください。なお、ニーズ調査の方法としてWEBによる調査に限定していないことを申し添えます。